

# MEMS協議会（MEMS Industry Forum）の動き

## 1．総合イベント「マイクロナノ2010」の準備進む

総合イベント「マイクロナノ2010」を2010年7月28～30日、東京ビッグサイトで開催いたします。

現在は、オーガナイザーのメサゴメッセフランクフルトと展示会およびセミナーなどの同時開催プログラムを企画、準備しているところです。主なセミナーは次のような日程です。

- ・国際シンポ：7/28午後、特設会場A
- ・BEANSセミナー：7/29 同B
- ・ROBOTECHセミナー：7/30 同B

また、MEMS協議会の情報発信の場であるMEMS協議会フォーラム、産学連携を進める大学からの情報発信を中心とする産学連携フォーラムも昨年同様、開催予定です。特に後者については、この機会に活動紹介を希望される機関のご連絡をお待ちしております。

## 2．MEMS協議会推進委員会が開催される

平成21年度 第2回MEMS協議会推進委員会（委員長：久間三菱電機上席常務執行役 開発本部長）を、1月29日（金）、商工会館（霞ヶ関）6F会議室にて開催しました。11社の企業委員の他、経済産業省、NEDO、下山MEMS協議会副会長（東大教授）の出席も得て、MEMS協議会としての今年度活動実績の報告、およびBEANSなどの高度化する研究開発プロジェクトの今後のあり方や、つくばイノベーションアリーナにおけるMEMS研究開発拠点などについての活発な意見交換（MEMS懇話会）がされました。

企業委員からは、BEANSプロジェクトやそれをベースにした今回のNEDO公募によるプロジェクト（Gデバイス@BEANS）、および産学官で推進されている、つくばイノベーションアリーナNMEMS（仮称JMEC）への期待が述べられました。個別企業としては、国内の拠点に集中することで国際的な競争力を獲得することの意義、アジアも視野に入れた国際連携、オープンイノベーションの重要性も指摘されました。

経産省やNEDOからは、自社のリソース集中と外部リソースの活用をどう区別するか、国プロや拠点活用への期待が述べられ、さらに、応用ニーズに関する情報提供が要請されました。

このような産学官が会して意見交換する場を、継続的に充実させ、MEMS協議会活動に反映させていきたいと考えています。



第2回MEMS協議会推進委員会（1月29日）

## 3．第5回つくばイノベーションワークショップ参加

つくばイノベーションアリーナ（TIA）を真に効果的なものとするために何が必要か議論するための第5回ワークショップが、2月15日、16日、産総研つくば中央、共用講堂にて開催されました。今回は海外のナノテクに関連する著名な研究開発拠点（IMECやLETI、Fraunhoferなど）から幹部層を招き、マネジメントやネットワーキングに関する講演やパネルディスカッションが行われました。2日目のNMEMSに関するセッションにはMMCから、検討を進めているJMEC（仮称）の概要について報告をしました。

BSAC、LETIからもどのようにしてテーマを遂行し、成果を大きくするか、などの経験、考え方が紹介され、韓国ナノファブセンターやシンガポールにおける関連活動の紹介もされました。

海外からの講演者は非常に率直に自分たちの経験やアドバイスを語ってくれた印象が強く、狙い通りの意義深いワークショップでした。

## 4．人材育成プログラムの全国展開

MEMS関連産業に必要な人材育成がシステムティックになされることによって、順調な産業成長が実現できると考えられます。

MEMS協議会では来年度、国内各地の産官学連携組織からの委員を中心とした人材育成推進委員会を設置して、人材育成プログラム全体計画の策定や各拠点間の調整、推進を行う予定です。兵庫県の新産業創造研究機構、北九州産学術推進機構、東北大学中心の産学官連携組織などが各地域運営の事務局であり、産総研つくばが一部講座の実施および全体への助言者です。MMCはこの委員会の事務局であり、関東地域および全国の運営事務局を担う予定です。人材育成に関しては、多くの期待の声を頂いています。皆様のご支援、ご協力をよろしく願っています。